

自己点検・評価報告書

平成29年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

千葉大学

平成30年8月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程（H29.4.1 改正版）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 本学における動物実験等を適正に行うため、全学の規程として国立大学法人千葉大学動物実験実施規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程（H29.4.1 改正版） 国立大学法人千葉大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 国立大学法人千葉大学動物実験実施規程に基づき、動物実験計画の審査、実施状況及び結果の把握、飼養保管施設及び実験室の審査、実験動物の飼養保管状況の把握、教育訓練、自己点検・評価、情報公開、その他動物実験等の適正な実施に関して学長に報告又は助言を行う組織として、全学動物実験委員会が置かれている。 動物実験等を実施していない部局からも委員を選出している。また、外部委員2名が委員会に参加している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

国立大学法人千葉大学動物実験実施規程（H29.4.1 改正版）
千葉大学における動物実験の取扱いについて（H20 通知）
千葉大学における動物実験等の取扱いについて（H29 通知）
千葉大学動物実験計画書
飼養保管施設設置（変更）承認申請書（申請・調査書を含む）
実験室設置（変更）承認申請書（申請・調査書を含む）
施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届
動物実験計画の審査フロー図
飼養保管施設・実験室の設置フロー図
動物実験（施設）体制図
平成29年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書
平成29年度飼養保管状況報告書
共同研究・外部委託実験 千葉大学内の申請要否等の基準表
千葉大学動物実験計画書の様式の改訂等について（通知）
千葉大学動物実験実施における麻酔薬リスト

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

国立大学法人千葉大学動物実験実施規程及び諸様式等により適正に定められている。
特に平成29年度は、以下の事項についてより一層整備している。

- ・実験計画書及び施設関係書類の記載に当たり、当該計画・施設等の目的・性質・動物種等に応じた記載の例を全学へ示している。
- ・共同研究・外部委託実験に係る本学内の実験計画申請要否等を明確化するため、基準表を全学へ示すとともに動物実験計画書の様式を改訂している。
- ・過去に本学動物実験で承認を受けた標準的な麻酔薬をリスト化して全学へ示すことにより、実験計画立案に当たっての参考情報として整備している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程 (H29.4.1 改正版)</p> <p>国立大学法人千葉大学遺伝子組換え実験等安全管理規程</p> <p>国立大学法人千葉大学病原体等安全管理規程</p> <p>国立大学法人千葉大学化学物質管理規程</p> <p>国立大学法人千葉大学放射線障害予防規程</p> <p>国立大学法人千葉大学総合安全衛生管理機構改善措置規程</p> <p>千葉大学動物実験計画書</p> <p>千葉大学動物実験計画書の様式の改訂等について (通知)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験等については、上記諸規程により適正に定められている。</p> <p>遺伝子組換え実験及び病原体等を取扱う動物実験等については、当該動物実験計画申請時に、関連する遺伝子組換え実験等計画申請及び病原体等取扱申請が承認されているか (申請されているか) 確認をしている。</p> <p>特に平成29年度は、「放射性同位元素・放射線使用実験」欄及び「化学発癌・重金属実験」欄の該当事項を明確化する等のため、動物実験計画書の様式を改訂している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管施設設置（変更）承認申請書（申請・調査書を含む）</p> <p>全48ヶ所の飼養保管施設のマニュアル（標準操作手順書）</p> <p>使用可能な飼養保管施設一覧</p> <p>平成29年度飼養保管状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>学内の全ての飼養保管施設の存在及び実験動物の飼養保管体制を把握するとともに、各施設に実験動物管理者を置いている。</p> <p>全48ヶ所の飼養保管施設において、実験動物管理者の指導のもと、注意事項や飼育管理等記載されたマニュアル（標準操作手順書）が整備・保管されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特になし。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成29年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨</p> <p>平成29年度動物実験委員会 議事要旨</p> <p>動物実験計画の審査フロー図</p> <p>飼養保管施設・実験室の設置フロー図</p> <p>千葉大学における動物実験等の取扱いについて (H29 通知)</p> <p>共同研究・外部委託実験 千葉大学内の申請要否等の基準表</p> <p>千葉大学動物実験計画書の様式の改訂等について (通知)</p> <p>千葉大学動物実験実施における麻酔薬リスト</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験計画については計472件、飼養保管施設・実験室については計14件の審査を実施し、関係法令及び規程等に基づき指導助言又は確認を行った。</p> <p>委員が一堂に会する集合会議を1回実施し、学内における動物実験等の体制等についての審議、特に苦痛度の高い動物実験計画 (D が中心) について委員会審査の内容の検証、飼養保管状況報告書の様式策定の審議を行った。</p> <p>また、実験計画書及び施設関係書類の記載に当たり、当該計画・施設等の目的・性質・動物種等に応じた記載の例を全学へ示した。さらに、共同研究・外部委託実験に係る本学内の申請要否等の基準表を全学へ示すとともに動物実験計画書の様式を改訂した。</p> <p>加えて、臨時メール審議1回を実施し、「千葉大学動物実験実施における麻酔薬リスト」の作成及び動物実験計画書の様式「化学発癌・重金属実験」欄の改訂等を審議するとともに、動物実験等の適正な実施について全学に周知を行った。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成29年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨</p> <p>平成29年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書</p> <p>平成29年度動物実験に係る年度報告（動物別使用匹数・飼養匹数）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>平成29年度は、481件の動物実験計画の申請があり、472件が承認された（9件は取下げ）。なお、472件のうち委員会審査による修正等意見が付された動物実験計画の件数は388件であった。</p> <p>「平成29年度動物実験に係る年度報告」について、472件全て提出され、適正に動物実験が実施されていることが確認された。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成29年度動物実験に係る年度報告及び経過・結果（終了・中止）報告並びに遺伝子組換え動物現在数調査報告書（安全管理に関する報告）</p> <p>平成29年度動物実験委員会 持ち回り審議 議事要旨（安全管理を要する動物実験計画一覧）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>千葉大学における安全管理を要する動物実験等（遺伝子組換え動物実験、病原体等を取扱う動物実験、放射性同位元素・放射線を使用する動物実験及び化学発癌・重金属を扱う動物実験）について、本学における事故は全て総合安全衛生管理機構と動物実験委員会に報告されることとなっているが、関係する事故報告件数は0件であり、安全に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成29年度飼養保管状況報告書</p> <p>使用可能な飼養保管施設一覧</p> <p>全48ヶ所の飼養保管施設のマニュアル（標準操作手順書）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>「平成29年度飼養保管状況報告書」について、提出対象45ヶ所全ての飼養保管施設から提出があり、適正に実施されていることが確認された。（平成30年度中に無作為抽出により一部の飼養保管施設の実地調査を行う予定）</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>使用可能な飼養保管施設一覧</p> <p>使用可能な動物実験室一覧</p> <p>平成29年度飼養保管状況報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>新規設置又は変更の際には原則として全学動物実験委員会による写真調査（必要に応じて立ち入り調査）を実施しており、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に管理されることを確認している。新規設置又は変更の審査時に確認できた施設等の不適切な箇所については、改善を求め、改善の確認を行い、承認している。</p> <p>過去に承認済みの施設の維持管理状況については、「平成29年度飼養保管状況報告書」により、提出対象45ヶ所全ての飼養保管施設から提出があり、内容が確認された。（平成30年度中に無作為抽出により一部の飼養保管施設の実地調査を行う予定）</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>教育訓練の開講通知（前期・後期）</p> <p>教育訓練の開講記録</p> <p>国立大学法人千葉大学動物実験実施規程（H29.4.1 改正版）（教育訓練教材）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>平成29年度の教育訓練については、千葉大学 Moodle 2017 を利用したオンライン形式（前期・後期の一定期間、随時）によって実施し、合計1,298名が受講した。動物実験実施者等には年1回の受講を義務づけており、動物実験計画書審査の際に実験実施者名簿等で受講の有無を確認している。</p> <p>オンライン形式の教育訓練をほぼ通年で実施することによって、多忙な研究者でも教育訓練を随時受講することが可能になった。</p> <p>また平成29年度より英語版のコンテンツを作成・提供し、英語での教育訓練の受講を可能にした。日本語以外での受講を可能にしたことで、外国人研究者等においても教育訓練内容への理解が深まった。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 千葉大学ホームページ（国立大学法人としての公表事項） 平成29年度動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価及び関連事項の情報公開については、平成21年度から実施している。 国動協の要請する情報公開項目については、全て対応済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当しない。
